

運営：九州ブロック

会場：ホテル聚楽

2階 コンコルド

## 第4分科会

# 「自分のライフスタイルから解放運動を考えてみよう」 ～仕事・家庭生活・子育て・運動～

### 討議の柱

- ◇自分のワークライフバランスを見つめなおし、活動への参画を促すとともに、両立ができない人の課題を自分の課題として捉え、考える。
- ◇さまざまな人の運動へのかかわり方を知り、自分の地域で取り入れることができるものを地域に持ち帰る。
- ◇仕事と運動の両立は難しい部分が多々ある。しかし、自分ができる範囲の運動をしているかどうかを振り返り、できていない部分を自分なりに振り返り、今後の活動に生かしていく。また、運動は一人ではなく、仲間の相互協力により成り立つことを再確認する。
- ◇運動にかかわっている人（子ども・青年・支部員）の今おこなっている活動から参画していくことができることも考える。

### 内容紹介

昨今、青年層の運動離れが、各都府県連でも深刻な問題となっています。九州ブロックでは、公務員、会社員、家事従事者、看護師、教員、組織専従者などさまざまな立場の人が運動にかかわっています。それぞれ立場になって考えると、運動をおこなうために、さまざまな苦労や努力を垣間見ることが出来ます。しかし、さまざまな業種の人がいるからこそ、運動に幅が広がり、充実した運動をおこなうことが出来ます。九州ブロックの交流キャンプでもレクリエーションなどに社会教育の考えをいれて計画したりしていました。これも、職業で社会教育関係者がいるからこそできることです。そこで、「なぜ、運動離れが起きているのか?」「どうしたら、青年部活動が活発になるのか?」などの疑問を抑え、課題から自分たちができる運動を考えていきます。

キーワード

「仕事」「家庭生活」「子育て」「運動」

運営：広島県連

会場：ホテル聚楽

7階 王朝

## 第5分科会

# 「反戦・平和・時事問題」

### 討議の柱

- ◇「部落解放運動が取り組んでいる反戦・平和の課題」（仮称）と災害支援の特別報告を聞いて、感想と疑問点を出そう
- ◇各地域で取り組んでいる平和や他の人権課題、被差別少数者との連帯（交流）などについて出し合おう
- ◇戦争遺跡、平和資料館の見学、沖縄平和学習、戦争・被爆体験者からの聞き取り、被災地ボランティアなどに参加した人は、その経験と学んだことを出し合おう
- ◇部落解放運動がなぜ平和や他の人権課題に取り組まなければならないのかを考えてみよう

### 内容紹介

部落解放運動は「戦争は最大の人権侵害」と訴えてきました。世界人権宣言（1948）も平和と人権を一体的なものと考えています。逆に戦争と人権破壊は悪魔のスクラムを組んでやってきました。今日の政治状況は、後者と言わざるを得ません。平和憲法を無視し、安保法制（戦争法）をはじめ、「共謀罪」、そして明文改憲へと突きすすむ危険な政治状況を確認するとともに、水戸社をはじめ市民運動・労働運動団体が弾圧され解散させられた過去の歴史から学ばなければなりません。

教育現場では、国家に都合の良い人間を育てるために愛国心や道徳が叫ばれ、ついに教育勅語を復活させるような動きまで出ています。選挙権が18歳からとなり高校生も政治に無関心ではいられません。

この分科会では、平和や他の人権課題、被差別少数者との連帯など、部落解放運動が取り組むべき課題について、経験と疑問を出し合いたいと思います。

NO WAR

PEACE

